

企業の社会的責任

当社では以下のとおり、会社の目指すところ（経営理念等）として「東武グループ経営理念」、「東武グループ経営方針」を定めています。

東武グループ経営理念

東武グループでは、「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所としています。

- 「奉仕」 東武グループは、東武グループの全ての事業が社会に支えられていることを深く自覚し、豊かな社会の実現に貢献します。
- 「進取」 東武グループは、現状に甘んじることなく、常に研鑽に励み、時代を切り開く開拓者精神をもって新たな挑戦を続けます。
- 「和親」 東武グループは、人の和や環境との調和をもとに事業の発展と従業員の幸福を図り、社会の進展に寄与します。

東武グループ経営方針

お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開します。

お客様の視点に立ち、質の高い先進性や独創性あふれるサービスを提供し、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指します。

事業を通じて安定的に利益を創出しながら、環境にも配慮した経営を進め、お客様の生活を担う企業グループとして地域社会とともに持続的に発展することにより、企業の社会的責任を果たします。

東武グループのCSR

東武鉄道を中心とする東武グループは鉄道事業を核として、運輸、レジャー、不動産、流通等の各事業を展開しています。

現在、企業に対しては、「企業価値の増大や利益の創出を図りながら、社会に対して果たすべき役割がある」という、いわゆる「企業の社会的責任」に対する要請が高まっています。民営鉄道各社は、従来から地域社会の発展とともに成長するという事業モデルを展開してきましたが、東武グループにおいても、「雇用」、「納税」、「配当」という基本となる企業活動の目的に加え、「安定したサービスの提供」、「沿線開発の促進」、「生活関連事業の展開」、そして「これらによるさらなる雇用の創出」等、様々な形での社会的責任を果たしてきました。

また、地球温暖化防止という観点では、鉄道はマイカーと比較すると単位あたりのエネルギー効率がが高く、環境にやさしい交通手段であり、この環境優位性はより多くのお客さまにご利用いただくことで高まることから、なお一層の利便性・快適性の向上に努め鉄道利用を促すことで、社会全体の環境負荷低減に寄与することをめざしており、このことも鉄道事業者の社会的責任の一つと認識しています。

今後とも東武グループでは、コーポレート・ガバナンス体制の充実とコンプライアンス経営体制等の内部統制システムの強化徹底を図り、企業の社会的責任への取り組みを企業価値向上のために積極的に推進し、ステークホルダーの皆さまからの支持が得られる企業グループをめざしていきます。